

## 【概要】

### 住宅ローン貸出動向調査(2020年度)

#### I 調査結果の主なポイント

※< >は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

##### 1 新規貸出額の金利タイプ別構成比、今後重視する金利タイプ、ともに「変動金利型」が増加 <p. 4・21>

- ・ 2019年度の新規貸出額の金利タイプ別構成比は、「変動金利型」が75.2%(前回調査:70.4%)と増加しました。また、今後重視する(伸長が期待される)金利タイプも、「変動金利型」が67.6%(前回調査:62.8%)と増加しました。

##### 2 政策と連携した取扱商品では「環境配慮型」が増加。また、取扱検討中の商品では「リバースモーゲージ」が増加 <p. 27・28>

- ・ 商品(政策連携等)として「環境配慮型」を取り扱う金融機関の割合が31.9%(n=288、前回調査:27.9%)と増加しました。また、新たな商品として「リバースモーゲージ」の取扱いを検討している金融機関の割合が82.7%(n=52、前回調査:62.1%)と増加しました。

(※)本文中の「n」は有効回答数

##### 3 住宅ローンのリスクでは「景気低迷による延滞増加」が増加 <p. 39>

- ・ 住宅ローンに関して懸念する問題(リスク)は、「景気低迷による延滞増加」が50.2%(前回調査:33.0%)と増加しました。

#### II 調査の概要

住宅ローンを取り扱う金融機関(305機関)に対し、住宅ローンの貸出実績、取組姿勢、営業戦略、審査、リスク、証券化の動向などに関するアンケート調査を行い、その結果を取りまとめた資料です。

本調査の調査時期は2020年7月～9月(※)、回答数は289件です。

なお、本調査における住宅ローンには、住宅金融支援機構の【フラット35】は含まれません。

(※)貸出額等の計数に関する設問については2019年度(末)実績、それ以外については2020年6月末時点の状況の回答を依頼